

# 平群町 まち・ひと・しごと創生総合戦略

住みたい 行きたい 育てたい  
みんなで創ろう 山のぽっけへぐりの未来！



平成28年3月  
平群町

## 目次

I	はじめに	1
1	国の創生総合戦略及び本町人口ビジョンとの関係	1
2	平群町第5次総合計画との整合	2
3	戦略の実施期間	2
4	総合戦略の推進にあたって	2
II	基本的な考え方	3
1	平群町の強みと弱み	3
2	総合戦略の基本理念と基本目標	4
III	平群町地方創生総合戦略の体系	5
基本目標1	若者が住める、住みたくなるまちをつくる	7
基本目標2	子育てしやすい、子育てしたくなるまちをつくる	11
基本目標3	新たな雇用と交流をつくる	15
基本目標4	地域を守り、地域をつなぐ	21

# はじめに

## 1 国の創生総合戦略及び本町人口ビジョンとの関係

国が策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的な考え方や政策5原則等をもとに、本町における人口減少と地域経済縮小の克服、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立を目指し、本町における人口の現状と将来の展望を提示する人口ビジョンを踏まえて、今後5カ年の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめたものです。

### ■「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的な考え方と政策5原則抜粋

#### 1 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的な考え方

##### (1) 人口減少と地域経済縮小の克服

○地方は、人口減少を契機に、「人口減少が地域経済の縮小を呼び、地域経済の縮小が人口減少を加速させる」という負のスパイラルに陥るリスクが高い。

○人口減少克服・地方創生のためには、3つの基本的視点から取り組むことが重要。

- ①「東京一極集中」の是正
- ②若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現
- ③地域の特性に即した地域課題の解決

##### (2) まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立

○「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立するとともに、その好循環を支える「まち」に活力を取り戻す。

- ・若い世代が安心して働ける「相応の賃金、安定した雇用形態、やりがいのあるしごと」という「雇用の質」を重視した「しごとの創生」
- ・若者の地方での就労を促すとともに、地方への移住・定着を促進するとともに、安心して結婚・出産・子育てができるよう切れ目ない支援を行う「ひとの創生」
- ・地方で安心して暮らせるよう、各地域の特性に即しながら広域連携等によって課題を解決する「まちの創生」

#### 2 「まち・ひと・しごと創生」政策5原則

- ①自立性
  - ・構造的な問題に対処し、地方公共団体、民間事業者、個人等の自立につながる。
- ②将来性
  - ・地方が自主的かつ主体的に、夢を持って前向きに取り組むことを支援する。
- ③地域性
  - ・各地域の実態に合った施策を支援。国は支援の受け手側の視点に立って支援。
- ④直接性
  - ・最大限の成果をあげるため、直接的に支援する施策を集中的に実施する。
- ⑤結果重視
  - ・PDCA メカニズムの下、具体的な数値目標を設定し、効果検証と改善を実施する。

## 2 平群町第5次総合計画との整合

平群町第5次総合計画は平成34年度を目標年次として、高齢者から子どもまでが安心して暮らせる『緑豊かで心豊かな 子どもの歓声がきこえるまち』を将来像とするまちづくりの基本的指針であり、その基本的な考え方は「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的考え方と合致するものです。したがって第5次総合計画を、国が示す4つの政策分野にスライドさせつつ、具体的な戦略として策定します。

## 3 戦略の実施期間

戦略の実施期間は平成27年度から平成31年度までの5年間です。

## 4 総合戦略の推進にあたって

### (1) はばひろい連携・協働による取組

総合戦略の推進にあたっては、より効果的な成果を実現できるよう、近隣市町同士の広域的な連携や奈良県との協働により推進します。

また、民間活力を最大限活用した手法をはじめ、住民・NPO・企業等の多様な主体と連携・協働しながら推進します。

### (2) 計画のフォローアップ

各基本目標における数値目標、重要業績評価指標（KPI）\*に基づき、取り組みの効果を定期的に検証するとともに、社会経済情勢や町の内外の状況変化に対応して、適宜戦略の見直しを行い、効果的な施策の刷新に取り組みます。

重要業績評価指標（KPI）：Key Performance Indicator の略称。施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標をいう。





# 基本的な考え方

## 1 平群町の強みと弱み

平群町は、西に大阪府との境界としてそびえる信貴生駒山系、東に斑鳩町へと連なる矢田丘陵を仰ぎ、中央を竜田川が南流する「平群谷」とも呼ばれる緑豊かな町です。昭和40年代からの住宅開発で大阪のベッドタウンとして発展してきました。また、花卉や果樹、野菜などの農業も盛んで、心なごむ田園風景が広がるのどかな町です。さらには、信貴山や千光寺、長屋王墓や古代豪族平群氏ゆかりの古墳群、戦国武将嶋左近の椿井城跡や松永久秀の信貴山城跡など歴史遺産を今に伝え、町内外の多くの人から親しまれる町です。近年では幹線道路平群バイパス沿いに各種商業サービス業施設が集積し、広範囲からの購買客でにぎわっています。

一方、住宅開発によって転入してきた住民の子どもや孫の世代が、近年進学や就職等に伴って町外へ転出するケースが多く、少子高齢化が周辺都市と比較して急速に進んでおり、空き家の増加も招いています。

また、町をとりまく機会としては、自然やスローライフ、地域固有の歴史遺産等への関心の高まりなどがあげられます。一方、町をとりまく脅威としては、人口減少社会の到来に伴う地域間競争の激化などがあげられます。

### 平群町の強み

- 平群谷の豊かな自然
- 都市近郊の多彩な農産物
- 戸建住宅中心のゆったりとした住環境
- 道の駅や商業サービス業施設集積により集客力増大
- 公園、スポーツ施設は高い整備水準
- 多くの文化財や歴史遺産がある
- 地価、居住費が比較的安い

### 平群町の弱み

- 他都市より少子高齢化が進行
- 若者層が町外へ流出する傾向
- 近年空き家が急激に増加
- 依然厳しい財政状況
- 平群町の知名度は低い
- 出生率が低い
- 雇用の場が少ない
- 集合住宅が少ない

### 町をとりまく機会

- 地域主権への関心の高まり
- 「新しい公共」に対する関心の高まり
- 安全安心や循環型社会への関心の高まり
- 自然やスローライフ等への関心の高まり
- 地域固有の歴史遺産への関心の高まり
- ネット等によるビジネスチャンスの広がり

### 町をとりまく脅威

- 人口減少社会の到来に伴う地域間競争の激化
- 少子高齢化の全国的な進行
- 経済の不透明性や国全体の財政悪化
- 地球環境問題の顕在化

## 2 総合戦略の基本理念と基本目標

このような平群町の強みと弱みをふまえ、平群町第5次総合計画との整合を図りつつ、総合戦略の基本理念を次のとおり掲げます。

### 基本理念

## 住みたい 行きたい 育てたい

- 住みたい：若者層が町外へ転出する傾向を克服し、若者が住める、住みたくなるまちをつくります。そのため、新たな雇用の創出や起業支援、空き家活用や住宅取得支援を進めます。
- 行きたい：豊かな歴史資源や平群谷の美しい里山風景を活かした観光振興によって、平群町を訪れたいという人の流れを生み出します。
- 育てたい：平群町の優れた子育て環境を活かしながら、「小さなまちで大きな教育」等の子育て支援の充実に取り組み、子育てするなら平群でというまちをつくります。

総合戦略の基本目標については、平群町人口ビジョンに掲げた「目指すべき将来の方向」に基づき、次の4つを掲げます。

### 基本目標

- (1) 若者が住める、住みたくなるまちをつくる
- (2) 子育てしやすい、子育てしたくなるまちをつくる
- (3) 新たな雇用と交流をつくる
- (4) 地域を守り、地域をつなぐ



# 平群町地方創生総合戦略の体系

基本目標	施策の基本的方向
国の政策分野② 地方への新しいひとの流れをつくる  <b>基本目標 1</b> 若者が住める、 住みたくなるまちをつくる	若者・ファミリー層の定住化促進
	“山のぽっけ”の豊かな暮らし
	“HEGURich”の良好な暮らしの実現 (都市基盤)
国の政策分野③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望を かなえる  <b>基本目標 2</b> 子育てしやすい、 子育てしたくなるまちをつくる	子育て支援の充実
	小さなまちで大きな教育の推進
	ワーク・ライフ・バランスの促進
国の政策分野① 地方における安定した雇用を創出する  <b>基本目標 3</b> 新たな雇用と交流をつくる	平群にふさわしい企業誘致と産業振興
	農業の新たなビジネスモデルの創出
	若者の起業支援
	女性が働きやすい環境づくり
	高齢者の就労支援
国の政策分野④ 時代にあった地域をつくり、安心な暮らし を守るとともに、地域と地域を連携する  <b>基本目標 4</b> 地域を守り、地域をつなぐ	観光振興の推進
	身近な拠点づくりと地域における生活支援
	安全・安心な地域づくり

基本目標が目指す考え方とその数値目標を示します。

## 基本目標 1 若者が住める、住みたくなるまちをつくる

近隣都市部への交通アクセスがよく、地価、居住費も安価に抑えられるという町の強みを活かし、・・・、若者や子育て世帯が住みたくなるまちづくりを進めます。

数値目標	基準値	目標値 (H31 年度)	考え方
定住促進 (社会減の抑制)	△36 人 (H27)	△24 人	平群町人口ビジョンに基づく

### (1) 講ずべき施策に関する基本的方向

基本目標を実現するために講ずべき施策に関する基本的方向を示します。

#### 1 若者・ファミリー層の定住化促進

- ・若者やファミリー層が安心して快適に住むことができるよう、近隣都市部への交通アクセスのよさを活かし、空き家の利活用や流通を促進する体制づくり、国の制度を活用した 3 世代同居の支援等に取り組みます。
- ・・・

### (2) 具体的な施策と重要業績評価指標 (KPI)

具体的な施策の内容と重要業績評価指標(施策ごとの進捗状況を検証するための指標)を示します。

#### 1. 若者・ファミリー層の定住化促進

番号	施策名	具体的内容
1	定住化に向けた住宅取得支援	・定住促進奨励金の交付 ・3世代同居・近居への支援
2	・・・	

番号	重要業績評価指標 (KPI)	単位	基準値	基準値 年次	目標値 (平成 31 年度)
1	定住促進奨励交付金制度の申請件数(新規)	件	-	H27	90
2	・・・				



# 基本目標 1 若者が住める、住みたくなるまちをつくる

近隣都市部への交通アクセスがよく、地価、居住費も安価に抑えられるという町の強みを活かし、若者の転出防止・転入促進を図るとともに、ファミリー層が安心して快適に住むことができるよう、空き家活用等による住宅供給に取り組むことで、若者や子育て世帯が住みたくなるまちづくりを進めます。

数値目標	基準値	目標値 (H31年度)	考え方
定住促進 (社会減の抑制)	△36人(H27)	△24人	平群町人口ビジョンに基づく

## (1) 講ずべき施策に関する基本的方向

### 1 若者・ファミリー層の定住化促進

- 若者やファミリー層が安心して快適に住むことができるよう、近隣都市部への交通アクセスのよさを活かし、空き家の利活用や流通を促進する体制づくり、国の制度を活用した3世代同居の支援等に取り組みます。
- 定住や移住に関するニーズに円滑に対応できるよう、住宅・雇用・福祉等幅広い分野の連携による相談支援体制の整備を図ります。

### 2 “山のぽっけ”の豊かな暮らし

- 自然やスローライフ、歴史遺産への関心の高まりを背景に、幅広い世代の定住・移住を促進するため、遊休農地の活用を含め、農業体験の場づくりを進めます。
- 若者がまちづくりに参加しやすい環境づくりや出会いの場づくりなど、若者がいきいきと暮らせるまちづくりを進めます。

### 3 “HEGURich”の良好な暮らしの実現（都市基盤）

- 若者やファミリー層をはじめ、住民が安心して快適に暮らせる環境を整備するため、良好な住環境と調和のとれた市街地の形成を図るとともに、時代にマッチした公共施設の整備を図ります。
- 一般家庭や事業所等への再生可能エネルギー導入に向けた普及・啓発を推進するとともに、公共施設への再生可能エネルギー導入を推進します。

## (2) 具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

### 1. 若者・ファミリー層の定住化促進

番号	施策名	具体的内容
1	定住化に向けた住宅取得支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>定住促進奨励金の交付</li> <li>3世代同居・近居への支援</li> </ul>
2	空き家の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>空き家バンクの情報発信強化、掲載物件の拡大</li> <li>空き家活用に係る相談窓口の設置</li> </ul>
3	定住促進相談窓口の設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>窓口の一本化</li> <li>移住定住に係る情報発信の強化</li> </ul>

番号	重要業績評価指標（KPI）	単位	基準値	基準値 年次	目標値 (平成31年度)
1	定住促進奨励交付金制度の申請件数（新規）	件	-	H27	90
2	空き家バンクの登録件数	件	5	H27	50

#### ※定住促進奨励金の概要

若い世代の定住促進を図るため、町内で新しく住宅を取得した50歳以下の住民を対象に、家屋にかかる固定資産税を3年間実質免除する制度。



良好な住宅地

## 2. “山のぼっけ” の豊かな暮らし

番号	施策名	具体的内容
1	“山のぼっけ” の豊かな暮らし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町のアピールの活性化 町の知名度を上げるイベント（農業体験）、シティプロモーション事業の実施</li> <li>・都市交流型ふれあい農園の整備推進</li> </ul>
2	若者施策の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者の意見を取り入れやすい施策提案と審議会等の運営（各種委員に39歳までの委員枠を設定）</li> <li>・出会いの場の提供（体験型婚活イベント等の開催）</li> <li>・「恋まち 育まち へぐりっち」プロジェクトの実施（町民による恋まち育まち宣言、公共施設等へPRステッカーの掲載、子育て情報誌の作成、恋まちイベントの開催、若者開催イベントの支援 等）</li> </ul>

番号	重要業績評価指標（KPI）	単位	基準値	基準値年次	目標値（平成31年度）
1	ふれあい農園の区画数	区画	109	H27	116
2	恋まちイベント・セミナーの開催数	回	1	H27	10
3	育まち宣言町民数	人	-	H27	500



竜田川

### 3. “HEGURich” の良好な暮らしの実現（都市基盤）

番号	施策名	具体的内容
1	良好な住環境と調和のとれた市街地の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路、下水道、市街地整備等の推進と保全</li> </ul>
2	時代にマッチした公共施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>平群駅前へ（仮称）文化センター・図書館の複合型施設の建設</li> <li>公共施設の総量縮減（公共施設等総合管理計画の策定）</li> </ul>
3	循環型社会の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅・事業所への再生可能エネルギーの導入促進</li> <li>公共施設への再生可能エネルギーの導入推進</li> <li>ごみの減量と資源化率の向上</li> </ul>

番号	重要業績評価指標（KPI）	単位	基準値	基準値年次	目標値 （平成31年度）
1	公共下水道普及率	%	48.5	H27	60.0
2	公共施設の最適配置（箱モノ）	施設	21	H27	19
3	公共施設への再生可能エネルギーの導入数	施設	4	H27	10



平群北公園



近鉄東山駅前

## 基本目標 2 子育てしやすい、子育てしたくなるまちをつくる

認定こども園の整備、高校 3 年生までの医療費無料化、また豊かな自然環境等、従来の優れた子育て環境を維持しながら、多子世帯への経済的援助や「小さなまちで大きな教育」等の新たな支援の充実に取り組み、子育てしたくなるまちをつくります。

数値目標	基準値	目標値 (H31 年度)	考え方
合計特殊出生率	1.07 (H20~24 の 5 か年平均)	1.6	平群町人口ビジョンに基づく
出生数	99 人 (H25)	128 人	

### (1) 講ずべき施策に関する基本的方向

#### 1 子育て支援の充実

- 子ども・子育て支援新制度によって、保護者の就労の有無に関わりなく入園できる認定こども園をはじめ、乳幼児期の教育・保育の充実、地域における子育て支援の充実を図ります。
- 多子世帯への経済的支援、ひとり親家庭への支援をはじめ、子どもの安全対策や遊び場の確保など、すべての子どもが安心して健やかに成長できるよう子育て世帯への支援に努めます。

#### 2 小さなまちで大きな教育の推進

- 「小さなまちで大きな教育」を推進し、幼児期から英会話や異文化にふれる教育の導入、食育や農業体験の推進を図るとともに、確かな学力や豊かな人間性を培う教育環境の質の向上に努めます。
- 子ども読書活動を通じて乳幼児期からの図書館利用の促進と、読書を通じて親子の触れ合う時間を共有し、幼少期に豊かな人格形成を育みます。

#### 3 ワーク・ライフ・バランスの促進

- 仕事と育児の両立が図られるよう、事業所や住民に対して、育児休業制度の取得促進、男女共同参画の普及・啓発など、ワーク・ライフ・バランスの促進に努めます。



## (2) 具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

### 1. 子育て支援の充実

番号	施策名	具体的内容
1	多様な保育ニーズへの対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>待機児童ゼロの堅持</li> <li>放課後子ども教室、学童保育の充実</li> <li>長時間保育、一時保育、病児・病後児保育の充実</li> </ul>
2	地域で支援する子育て施策の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て相談の充実</li> <li>仲間づくりへの支援</li> <li>子育て情報の発信強化</li> <li>ファミリーサポートセンター、子育て世代包括支援センターの設置</li> <li>子育て家庭とサポーターをつなぐ「地域子育てネットワーク」の拡充</li> <li>あそびの広場、集いの広場など異年齢児、世代間交流の推進</li> <li>キッズクラブの運営によるこどもの居場所の提供</li> <li>高齢世代によるファミリーサポート</li> <li>「恋まち 育まち へぐりっち」プロジェクトの実施</li> </ul>
3	経済的な負担を軽減する子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>妊婦健診の助成</li> <li>子どもに関する医療費の助成</li> <li>補助制度を活用した不妊治療への支援</li> <li>多子世帯保育料の軽減</li> </ul>
4	子どもの暮らし・安全対策の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>不審者情報メール</li> <li>地域での見守り活動の実施、支援</li> <li>防犯灯、防犯カメラの設置</li> <li>交通安全、通学路の安全確保</li> </ul>
5	公園、緑地、遊び場の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然と触れ合える環境の整備</li> </ul>



おでかけ広場



ぱくぱく食事相談

番号	重要業績評価指標（KPI）	単位	基準値	基準値 年次	目標値 (平成31年度)
1	待機児童数	人	0	H27	0
2	長時間保育(早朝)利用者（月平均）	人	127	H27	130
3	一時保育利用者数(はなさとこども園月平均)	人	82	H27	100
4	子育て相談件数	件	850	H27	900
5	多子世帯保育料軽減者数（月平均）	人	108	H27	110
6	多子世帯保育料軽減者数（学童保育月平均）	人	31	H27	32
7	見守り活動参加人数	人	213	H27	220

## 2. 小さなまちで大きな教育の推進

番号	具体的な施策名	施策の具体的な内容
1	教育環境の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児期からの英会話や異文化にふれる教育の導入（英語教育や国際理解教育の推進）</li> <li>・ 就学前教育と小学校の連携</li> <li>・ ICTを活用した教育の推進</li> <li>・ 不登校児への支援事業の充実</li> <li>・ 子ども読書活動の推進、（仮称）文化センター・図書館の建設</li> <li>・ 大規模改修の推進等による学習環境の向上</li> <li>・ 切れ目のない学習を図る為、こども園と小・中学校の連携推進</li> <li>・ 学校長期休み期間におけるケアシステムの構築</li> </ul>
2	家庭・地域での教育力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域コミュニティと連携した学校づくり</li> <li>・ 農業と連携した体験学習の促進</li> <li>・ 地元企業と連携した体験学習</li> <li>・ サテライト教室の開催</li> <li>・ 「元気なあいさつ運動」の推進</li> </ul>

番号	重要業績評価指標（KPI）	単位	基準値	基準値 年次	目標値 (平成31年度)
1	不登校児の人数（H24～26の3か年平均）	人	13	H26	10
2	農業等体験授業（園・学校）の件数	件	10	H27	13

### 3. ワーク・ライフ・バランスの促進

番号	施策名	具体的内容
1	育児休業制度等の普及促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 男性の育児休業取得率の向上</li> <li>• 事業者、住民への啓発強化</li> </ul>
2	男女共同参画の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 男性に対し、家事育児参加に向けた教室の開催</li> <li>• 働く女性への支援、対策事業における県との連携</li> </ul>

番号	重要業績評価指標（KPI）	単位	基準値	基準値 年次	目標値 (平成31年度)
1	男性の育児休業取得率	%	0	H27	10.0
2	女性の労働力率	%	39.0	H22	50.0



ゆめさとこども園

# 基本目標 3 新たな雇用と交流をつくる

就農希望者の受入れや農産物のブランド化の推進等、町の基幹産業である農業の新たなビジネスモデルの展開、若者等の起業支援、女性が働きやすい環境づくり、高齢者の就労支援等に取り組み、新たな雇用の創出を図ります。また、豊かな歴史資源や平群谷の美しい里山風景を活かした観光PR、国際観光受入れの環境整備等を行い、新しい人の流れや交流を生み出します。

数値目標	基準値	目標値 (H31 年度)	考え方
従業者数（商業）	818 人 (H26)	970 人	第 5 次総合計画に準ずる
従業者数（製造業）	291 人 (H25)	300 人	第 5 次総合計画に準ずる
観光客数	40 万人 (H26)	88.5 万人	第 5 次総合計画に準ずる（信貴山、千光寺入込客数）

## (1) 講ずべき施策に関する基本的方向

### 1 平群にふさわしい企業誘致と産業振興

- ・ 町内の製造業や農業、商業等他業種と連携可能な企業の誘致に積極的に取り組み、雇用の場の確保と町全体の産業の活性化を図ります。

### 2 農業の新たなビジネスモデルの創出

- ・ 産学公の連携により、平群の高品質な農産物を活かした付加価値の高い商品開発に取り組みます。
- ・ 農業及び地域産業の連携により 6 次産業化への取り組みを支援し、平群の顔となる特産品の開発や販路開拓に努めます。
- ・ 観光施策との連携による情報発信等に努め、農産物のブランドを支える人材と体制づくりを進め、農産物のブランド化を推進します。
- ・ 持続的な農業経営の確立に向け、さまざまな就農のあり方に対応できる営農システムの構築を目指し、農業法人の立上げ等を支援します。
- ・ 農業体験の場づくりや学校給食との連携などにより、地産地消を推進します。

### 3 若者の起業支援

- ・ 若者の起業を支援するため、起業に関する情報収集やノウハウ獲得などの情報発信を推進します。
- ・ 起業支援のための各種制度を円滑に利用できるよう、事業計画作成支援等のサポート体制の充実を図ります。

#### 4 女性が働きやすい環境づくり

- 在宅勤務を可能にするテレワークの導入促進など、女性が働きやすいワーク・ライフ・バランスに配慮した就業形態の普及、啓発に努めます。

#### 5 高齢者の就労支援

- 新たな総合事業の活用等によって高齢者の生活支援を高齢者自身が担い手となるなど、はばひろい分野で高齢者が活躍・就労できる仕組みづくりに取り組みます。

#### 6 観光振興の推進

- 平群町の豊かな自然、農産物、歴史遺産などの魅力を、広域的な連携を図りながら情報発信し、観光PRの推進に努めます。
- 椿井城・信貴山・千光寺地域や道の駅など、町内の観光拠点のホスピタリティ（おもてなし）の充実、景観や環境整備を図ります。
- 観光集客拠点などを活用した新たな景観ポイントを創造するとともに、四季の移ろいを楽しむことのできる植栽等を進め、「景観のある」平群町の創造を目指します。
- 平群の魅力と誇りを表現する平群ブランドコピー及びロゴマークの共有と発信に努めます。



R168 バイパス 企業誘致



産学公による商品開発



## (2) 具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

### 1. 平群にふさわしい企業誘致と産業振興

番号	施策名	具体的内容
1	地域産業と連携可能な企業や産業の誘致	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な業種の事業所、研究施設の誘致</li> <li>工場等立地促進条例による優遇措置の活用（設備投資相当の固定資産税の軽減等、企業立地に向けた助成）</li> <li>企業向けシティプロモーション事業の推進</li> </ul>
2	既存産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>小口融資制度の充実など既存商工業者の振興</li> </ul>
3	新たな産業の創造	<ul style="list-style-type: none"> <li>起業相談窓口による町内起業の支援</li> </ul>

番号	重要業績評価指標（KPI）	単位	基準値	基準値年次	目標値 (平成31年度)
1	企業の誘致数	社	1	H27	3
2	製造品出荷額等	百万円	4,798	H25	5,000
3	年間商品販売額	百万円	27,517	H26	30,000
4	小口融資制度の融資件数	件	33	H26	36

### 2. 農業の新たなビジネスモデルの創出

番号	施策名	具体的内容
1	産学公による商品開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊休農地を活用した大学と連携した商品開発と生産の支援</li> </ul>
2	農産物のブランド化の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>異業種とのコラボによる平群ブランドのPR</li> <li>平群産農産物を活用するビジネス展開</li> <li>6次産業化の推進</li> </ul>
3	営農体制構築への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業生産法人化の促進</li> <li>就農希望者の受入れ</li> </ul>
4	地産地消の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校給食への食材提供</li> <li>就学前教育からの農業体験の実施</li> </ul>

番号	重要業績評価指標（KPI）	単位	基準値	基準値 年次	目標値 (平成31年度)
1	商品開発件数	件	10	H27	13
2	新規就農希望者数	人	5	H27	7
3	平群ブランド件数	件	6	H27	10
4	農業生産法人数	法人	3	H26	5
5	耕地面積の拡大	ha	322	H27	325
6	地産食材の品目数	品目	24	H27	26

### 3. 若者の起業支援

番号	施策名	具体的内容
1	若者の起業支援	・ 起業セミナーの情報発信やノウハウ獲得の支援
2	各種起業支援制度の活用	・ 空き店舗の活用（空き家バンクと連動） ・ ファンド等起業資金確保への支援
3	U・Iターンへの支援	・ 町内中小企業採用情報の全国発信 ・ 学生を対象としたインターンシップ支援 ・ 町職員採用におけるふるさと枠の創設（平群移住者枠の設定、通常の公務員試験ではなく、ふるさとづくりに熱意のある採用者枠

番号	重要業績評価指標（KPI）	単位	基準値	基準値 年次	目標値 (平成31年度)
1	町内での起業数	件	-	H27	5
2	空き店舗の供給数	数	-	H27	10
3	Uターン者数・Iターン者数 (生駒郡以外からの転入者数)	人	369	H25	430

## 4. 女性が働きやすい環境づくり

番号	施策名	具体的内容
1	テレワークの導入促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークを活用した雇用機会の創出</li> <li>・サテライトオフィスの整備支援</li> </ul>
2	ワーク・ライフ・バランスに配慮した就業形態の啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世帯の女性へのセミナー開催や就業体験の実施</li> <li>・時短等生活スタイルに応じた働き方の仕組みづくり</li> </ul>

番号	重要業績評価指標（KPI）	単位	基準値	基準値年次	目標値 (平成31年度)
1	テレワーク業務数	業務	-	H27	3
2	セミナーの開催数	回	-	H27	5

## 5. 高齢者の就労支援

番号	施策名	具体的内容
1	生活支援等のはばひろい分野で高齢者が担い手となる仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シルバー人材センターの振興</li> <li>・シニア世代がお互いに支え合う制度（ボランティアポイント制度の導入）</li> </ul>

番号	重要業績評価指標（KPI）	単位	基準値	基準値年次	目標値 (平成31年度)
1	シルバー人材センター登録者数	人	118	H26	200

## 6. 観光振興の推進

番号	施策名	具体的内容
1	観光PR（広域含む）の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 知名度を上げるイベントの開催支援</li> <li>・ ふるさと納税の目玉企画の開催</li> <li>・ 近隣市町と連携した観光事業の展開</li> </ul>
2	観光客受入れの環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観光施設のWi-Fi化等のICT化の整備</li> <li>・ 電気自動車充電ステーションの整備</li> </ul>
3	観光拠点づくりとおもてなしの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歴史ファンを意識したおもてなしの充実</li> <li>・ 観光ボランティアガイドの常駐化</li> <li>・ 「信貴山城」「椿井城」等の調査・保全整備</li> </ul>
4	景観ポイントの創造	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ フラワーロード沿いの植樹や植栽による景観整備</li> <li>・ 平群谷フォトコンテストの開催</li> </ul>
5	平群ブランドコピー及びロゴマークの共有と発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平群ブランドの知名度向上や、プロモーション事業の実施</li> </ul>

番号	重要業績評価指標（KPI）	単位	基準値	基準値年次	目標値 (平成31年度)
1	Wi-Fi化施設数	施設	3	H27	5
2	観光客数（信貴山、千光寺）	人	397,000	H26	885,000
3	観光ボランティアガイド案内数	人	1,624	H26	3,000



へぐり時代祭り



信貴山朝護孫子寺

# 基本目標 4 地域を守り、地域をつなぐ

子どもから高齢者まで、幅広い世代の居場所となる交流の場や、多機能型・多世代交流型の身近な拠点となる場づくりを進め、地域のつながりが見える、安心して暮らせるまちづくりを進めます。併せて地域のつながりを活かした自主防災力の強化による地域防災の充実に努め、住民の安全な暮らしを守ります。

数値目標	基準値	目標値 (H31年度)	考え方
まちの現状についての満足度	59.6% (H27)	80.0%	人口ビジョン・総合戦略策定のための 住民アンケート調査報告書

## (1) 講ずべき施策に関する基本的方向

### 1 身近な拠点づくりと地域における生活支援

- ・多世代交流、多機能型施設として公共施設等を活用し、集いや交流の場となる身近な拠点として活用を図ります。
- ・町内の買い物等に支援が必要な方への外出支援、食の支援など、多様な担い手による高齢者の生活支援の充実に取り組みます。
- ・平群駅周辺をだれもが利用しやすく賑わいのあるコンパクトシティとするため、駅前の利便性の向上と公共施設の再整備を図ります。

### 2 安全・安心な地域づくり

- ・近年関心の高まりをみせる防災について、地域において住民が主体となり取り組めるよう、自主防災組織の充実強化に取り組めます。
- ・コミュニティバスの利便性向上に努めるとともに、地域公共交通総合連携計画に基づく交通手段の充実を図ります。
- ・だれもが生涯健やかに暮らせるよう、健康寿命の延伸を目指して住民主体の健康づくりを推進するとともに、かかりつけ医の普及促進など地域医療体制の充実を図ります。
- ・地域のコミュニティ活動やNPO団体の育成支援に努め、住民協働による住みよいまちづくりを進めます。



## (2) 具体的な施策と施策ごとの重要業績評価指標（KPI）

### 1. 身近な拠点づくりと地域における生活支援

番号	施策名	具体的内容
1	子どもから高齢者まではばひろい層の集い・交流の場づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館の利用促進</li> <li>・高齢者の知識、経験の活用方策の実施（R-加チャー等）</li> <li>・文化、芸術活動の支援・場づくり</li> <li>・多様な講座等の開催</li> <li>・文化財の活用</li> <li>・へぐり検定の開催</li> <li>・学校・地域パートナーシップ事業の推進 （HEGURich Time Project）</li> </ul>
2	高齢者等の生活支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケアシステムの構築</li> <li>・生活支援（買い物）サービスの実施</li> <li>・コミバス無料乗車日の設定、高齢者運転免許証自主返納支援</li> <li>・認知症高齢者対策の推進</li> <li>・見守りサービス</li> <li>・ごみ個別回収（ふれあい収集）の実施</li> </ul>
3	平群駅周辺にコンパクトシティの検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平群駅前の利便性の向上と公共施設の最適配置</li> </ul>

番号	重要業績評価指標（KPI）	単位	基準値	基準値年次	目標値 （平成31年度）
1	公民館利用者数	人	55,000	H27	60,000
2	公民館教室開催数	回	166	H27	250
3	生活支援サービス利用者数（軽度生活支援事業）	人	160	H27	250
4	拠点施設設置数（自治会館数）	箇所	35	H27	36

## 2. 安全・安心な地域づくり

番号	施策名	具体的内容
1	地域防災の充実（自主防災力の強化）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自主防災組織の結成支援と運営補助</li> <li>・ 防災協定の充実</li> <li>・ 防災備蓄物資の計画的な整備</li> <li>・ 防災士の推進</li> <li>・ 災害時要援護者への支援</li> </ul>
2	地域公共交通の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コミュニティバスの利用促進</li> <li>・ 近鉄生駒線の利便性向上の要望</li> <li>・ 交通弱者への対策</li> </ul>
3	健康寿命の延伸とライフステージに応じた健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定健診、がん検診等の実施</li> <li>・ 生活習慣病の予防対策</li> <li>・ 生涯学習講座の開催</li> <li>・ かかりつけ医の普及促進</li> </ul>
4	地域活動の育成支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コミュニティ活動助成制度の創設</li> <li>・ 地域コミュニティ団体等の情報共有の促進</li> </ul>
5	NPO団体の育成支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ NPO団体の育成・活動支援</li> </ul>

番号	重要業績評価指標（KPI）	単位	基準値	基準値 年次	目標値 (平成31年度)
1	自主防災組織の結成率	%	77.2	H27	100.0
2	地域公共交通整備路線数	路線	3	H27	3
3	健康寿命の延伸	県下 順位	男性 15 位 女性 15 位	H25	男性 10 位 女性 10 位
4	地域コミュニティ団体の組織数 (小地域ネットワーク)	団体	16	H26	40
5	NPO団体数	団体	8	H	15

平群町まち・ひと・しごと創生総合戦略

平成 28 年 3 月

編集・発行 平群町政策推進課

〒636-8585 奈良県生駒郡平群町吉新 1 丁目 1 番 1 号

電話：0745-45-1002 FAX：0745-45-6619

URL：<http://www.town.heguri.nara.jp>